

平成27年3月期 連結業績 補足資料

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1. 通期連結業績

(億円、%)

	25/3期 実績	26/3期 実績	27/3期 実績	26/3期比増減		27/3期 予想	予想比 増減
				金額	率		
売上高	1,557	1,691	1,574	△117	△ 6.9	1,580	△ 6
国内	1,330	1,429	1,319	△110	△ 7.7	1,323	△ 4
海外	227	262	255	△ 7	△ 2.7	257	△ 2
売上総利益	481	527	456	△71	△13.4	464	△ 8
粗利率	30.9%	31.2%	29.0%	△2.2%	-	29.4%	△0.4%
販管費	430	453	461	+ 8	+ 1.8	454	+ 7
営業利益	51	74	△ 5	△79	-	10	△15
金融収支	△ 7	△ 8	△ 6	+ 2	-	△ 6	-
他営業外	10	17	16	△ 1	-	14	+ 2
経常利益	54	83	5	△78	△94.0	18	△13
特別利益	4	1	17	+16	-	15	+ 2
特別損失	△ 3	△ 5	△ 9	△ 4	-	△ 6	△ 3
税 前 利 益	55	79	13	△66	△83.5	27	△14
税,税調整額他	△15	△15	△16	△ 1	-	△18	+ 2
当期純利益	40	64	△ 3	△67	-	9	△12

※当社の通期連結業績は、国内販売会社を中心とする12月決算会社の1-12月、井関農機他3月決算会社の4-3月業績を連結しております。また、新たに連結対象となったフランス子会社の7-12月業績を連結いたしました。

1) 前期比

(1) 売上高：前期比117億円減収の1,574億円 (△6.9%)

・国内売上高は、前期比110億円減収の1,319億円 (△7.7%)

国内農機市場は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動による影響や米価の低迷等により低調に推移し、農機製品全体で71億円の減収。作業機も農機製品に連動して29億円の減収。施設工事は9億円の減収。

・海外売上高は、前期比7億円減収の255億円 (△2.7%)

製品地域別には、欧州市場は需要が回復してきたことや90周年キャンペーン効果などから30億円の増収。北米市場は、ユーティリティトラクタの排ガス規制前の駆け込み出荷に加え、コンパクトトラクタの出荷も好調に推移し10億円の増収。

中国市場は、中国の連結子会社が事業統合により、第1四半期末より連結対象から除外となったことから53億円の減収。その他アジアは1億円減収。豪州は1億円増収。また、部品その他で6億円増収。

(2) 売上総利益：前期比 71 億円減益の 456 億円（粗利率△2.2%）

営業利益：前期比 79 億円減益の△5 億円

経常利益：前期比 78 億円減益の 5 億円（△94.0%）

・売上総利益は、売上の減少（1-12 月）に伴う粗利益の減少に加え、国内農機製品の販売減少（4-3 月）や未実現利益の計上による粗利益の減少、インドネシア生産子会社の初期費用、新機種投資負担の増加等による粗利率の低下により 71 億円減益の 456 億円。

・営業利益は、粗利益の減少に加え、90 周年関連販促費等の販管費の増加 8 億円により、79 億円減益の 5 億円の赤字。

なお、販管費の 25/3 期対比では、人件費の増加のほか、インドネシア生産子会社の立ち上げやフランス販売代理店の子会社化など海外戦略に関する費用、国内農業の変化に対応した取組みや 90 周年関連費用、物流費等の営業関連費用などにより 31 億円の増加。

・経常利益は、為替差益の減少等により、78 億円減益の 5 億円。

(3) 当期純利益：前期比 67 億円減益の△3 億円

・当期純利益は、中国現地法人の現物出資に伴う持分変動利益の計上や、欧州販売代理店の株式取得（子会社化）による負ののれんの計上、また、施設工事に関する公正取引委員会からの課徴金の計上などにより、67 億円減益の 3 億円の赤字。

2) 予想比

(1) 売上高：予想比 6 億円減収の 1,574 億円

・売上高は国内、海外ともに若干の減収。

(2) 営業利益：予想比 15 億円減益の△5 億円

・営業利益は、1-3 月の不需要期における国内農機製品販売の想定以上の落ち込みに伴う在庫未実現利益の計上による粗利益の減少や、関連する作業機・部品の減収などにより、予想比 15 億円の減益。

(売上内訳)

(億円)

	25/3 期 実績	26/3 期 実績	27/3 期 実績	26/3 期比 増減	27/3 期 予想	予想比 増減
農業機械	671	725	654	△71	654	-
作業機	175	216	187	△29	190	△3
補修用部品	146	145	144	△1	145	△1
施設工事	78	77	68	△9	67	+1
その他	260	266	266	-	267	△1
国内計	1,330	1,429	1,319	△110	1,323	△4
北米	65	101	111	+10	114	△3
欧州	53	52	82	+30	80	+2
中国	67	70	17	△53	17	-
その他アジア	15	15	14	△1	13	+1
豪州他	5	6	7	+1	7	-
製品計	205	244	231	△13	231	-
補修用部品	12	13	18	+5	20	△2
その他	10	5	6	+1	6	-
海外計	227	262	255	△7	257	△2
合計	1,557	1,691	1,574	△117	1,580	△6

2. 平成 27 年 12 月期 通期連結業績予想

【平成 27 年 12 月期 通期連結業績予想】

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

(億円、%)

(ご参考)

	27/3 期 調整後※2	27/12 期 予想	前期比増減		27/3 期 実績(億円)
			金額	率	
売上高	1,457	1,520	+63	+4.3	1,574
(国内)	1,290	1,315	+25	+1.9	1,319
(海外)	167	205	+38	+22.8	255
売上総利益	412	457	45	10.9	456
粗利率	28.3%	30.1%	1.8%	-	29.0%
営業利益	△3	39	+42	-	△5
経常利益	10	37	+27	+270.0	5
当期純利益		21			△3

*想定為替レートは、対米ドル 115 円、対ユーロ 130 円。

【平成 27 年 12 月期期末配当予想】

1 株当たり 3 円の期末配当を予定しております。

〔業績予想の考え方〕

1) 売上高

- 国内は、排ガス規制や消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響や米価の動向等、市場環境は不透明な状況が続くと想定されるものの、農業に関する大型予算が引き続き計画されるなど、農業活性化に向けた取組みが期待されています。1-3月の不需要期における国内農機製品の販売は、米価低迷の影響もあり平常時の平成 24 年度を下回りましたが、当用期となった 4 月は前年比 160%超となり、平成 24 年度をも上回るまで回復しました。通期でも平成 24 年度並みになるものと判断しております。
- 海外は、欧州市場・北米市場への新たな戦略商品の投入や連結子会社化した ISEKI France による拡販。東南アジア市場には、インドネシア生産子会社による戦略機の本格生産や、タイ市場での本格展開等、海外売上高全体では、増収を見込んでおります。

2) 収益

- 収益面では、退職給付会計基準変更時差異償却終了等による人件費の低減 19 億円、固定費の圧縮 7 億円、合計経費圧縮 26 億円を実施し、増収による収益の改善 16 億円と併せて営業利益 39 億円の黒字化を見込んでおります。なお、固定費の削減に加え、販売増加および在庫未実現利益の好転等により、粗利率も 30.1%まで改善する見込みです。

〔決算期（事業年度の末日）の変更について〕

- 当社は、平成 27 年度より決算期（事業年度の末日）を 3 月 31 日から 12 月 31 日に変更することを予定しております。従いまして、経過期間となる平成 27 年度は、9 ヶ月決算となる予定です。※1
その結果、前期比増減につきましては、27/3 期における業績（当期純利益を除く）を 4 月～12 月ベースに調整して比較しております。※2

(ご参考)

- 中国事業の売上を含むグループ全体の海外売上高予想 (億円、%)

	27/3 期 調整後※2	27/12 期 予想	前期比増減		27/3 期 実績
			金額	率(%)	
海外売上高	201	280	+ 79	+39.3	288

以上

※1 決算期（事業年度の末日）の変更について

- 当社は、平成 27 年 6 月 24 日開催予定の定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、平成 27 年度より決算期（事業年度の末日）を 3 月 31 日から 12 月 31 日に変更することを予定しております。従いまして、経過期間となる平成 27 年 12 月期は、井関農機他 3 月決算会社につきましては、決算期変更を前提に平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日の 9 ヶ月間を連結対象期間としております。また、12 月決算会社につきましては、従来通り、平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日の 12 ヶ月間を連結対象期間としております。

※2 業績予想の比較について（27/3 期調整後実績との比較）

- 前年度業績との比較を同条件で行うために、平成 26 年度実績の対象期間を同期間に置き換えた「27/3 期調整後」と比較しております。
- 27/3 期調整後について
国内販売会社を中心とする 12 月決算会社の平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の 12 ヶ月間、井関農機他 3 月決算会社の平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の 9 ヶ月間の期間に合わせて業績を連結しております。